東海第二発電所 エ認ヒアリング 年間説明スケジュール表(案)

平成30年 3月27日日本原子力発電株式会社

ループ 発電用 No. 原子炉施設区分	資料	図書	11月 12	9月 1月	2月 2月	月 1	2 5		7 8	9 12	13	3月	16 19	20 22	23 2	26 27	28 29	30 2	3	4 5 6 9 10	11 12	4月 13 16 17 18	19 20	23 24	25 26	27 ト	F ト	7	上下	10月	上 下	備考 (ヒアリング予定)	分類 条件 評価 評価 方法 結果	(設置許	論点 件可からの論点
- 原于炉施設区分							金 月			金 月	火	* *	金 月	火木	金月	月火	水木	金 月	火	水木金月火	水木	金月火水	木 金	月火	* *	金	r ±	r ± 1 ± 7	- F	T F	_ F		力法 結果		
(凡例) 白抜 ▼ :補正	き・・・予定, 塗りつぶ 中時	・・・・実績	工認補正		L認補正② (2/13)													▲点整理 (3月末)		審査会合								工認補正③(8	8/E)						
	甲岬 リング実施予定		▼		▼													(3月末)																	
	補足説明資料	本文及び添付書類の作成要領について	V			+		++																					\rightarrow		++	2月中に完了。適宜見直し			
	州	会え及び旅刊音列のFF成安領について 設計及び工事に係る品質管理の方法等	V																				04	月下					+			工認本文(品質保証計画)を4月			
_	品証		-																								0 0		+		-4	下旬に実施 様式-1に関する各設計実施及び			
		各施設の活動実績と計画(様式-1)[15施設]	, i			4																				0	0 0	0	\perp			基本設計方針(展開表)反映後、 実施			
		要目表	▼	•	•	<u>'</u>								•															\rightarrow		1	「基本設計方針」は、設置許可補 E(確定)後、条文毎に3月実施予			
	本文	基本設計方針	*		Н.	+		+						•			0									0			+		9.1	定(3/29:19,22~24,27条,基本設計方針比較)。工認基本設計方針			
		設備リスト 適用基準及び適用規格		•	•	-		+						•													0		+		- 10	万月に収り。工能基本版目 万月 5月上旬。 「適用基準及び適用規格」につい ては、各説明書確定後実施			
		発電用原子炉の設置の許可との整合性に関する説明書			·	+																						0	+		83	設置許可との整合性に関する 説明書」については、基本設計方			
原子炉本体		設定根拠に関する説明書	V	•				+						•															+		31	計確定後実施			
		原子炉本体の基礎に関する説明書			V												〇調整	ф		04月上			04	月下		0	0 0	0	+						
	添付書類	原子炉圧力容器の脆性破壊防止に関する説明書	▼		•	•			•						•																7	品管説明書(全施設共通)につい では、4月下旬に実施 様式-1については様式-1に関係		-	
		設計及び工事に係る品質管理の方法等に関する説明書	V																				04	月下		0					す金	する各設計実績及び基本設計方 計(展開表)反映後,実施			•
		図面	▼	•	•	•								•																	-	上記2項目は、以下の全施設に ついて同様)			
		要目表	▼	•	•															〇4月上											;	「基本設計方針」は、設置許可補 E(確定)後、条文毎に3/20以降			
	本文	基本設計方針	▼			4											○調整・	ф		〇4月上			04	月下		0			\perp		¥	関施(基本設計方針比較含む)。 エ認基本設計方針は5月上旬。			
		設備リスト	▼	•		4														O4月上									\perp		7	「適用基準及び適用規格」につい には、各説明書確定後実施			
		適用基準及び適用規格			V	4		++		\vdash																	0		+		診	「設置許可との整合性に関する 説明書」については、基本設計方 計確定後実施			
		発電用原子炉の設置の許可との整合性に関する説明書 設定根拠に関する説明書	V					++		\vdash										04月上								0	+		1,	月:1燃料取扱設備., 4.2代替燃			
						+		++		\vdash										U4AI									+		2.	料プール注水系. !月:3使用済燃料貯蔵設備, 4.1燃 料プール冷却浄化系, 4.4原子炉			
核燃料物質の取 扱施設及び貯蔵 施設		使用済燃料貯蔵槽の温度、水位及び漏えいを監視する装置の構成 に関する説明書並びに計測範囲及び警報動作範囲に関する説明書			—	4		$\perp \perp$		$\sqcup \bot$						0													$\perp \!\!\! \perp \!\!\! \perp$		到 4.	皇屋放水設備 ↓月:4.2代替燃料プール注水			
Zaza		燃料取扱設備、新燃料貯蔵設備及び使用済燃料貯蔵設備の核燃料 物質が臨界に達しないことに関する説明書	Y	•	•	•				•			•			0				〇4月上			04	月下							弃 f	系4.3代替燃料プール冷却系, 4.5 七替水源供給設備			
	添付書類	燃料体等又は重量物の落下による使用済燃料貯蔵槽内の燃料体等 の破損の防止及び使用済燃料貯蔵槽の機能喪失の防止に関する	₩													0				〇4月上			04	月下											
		説明書 使用済燃料貯蔵槽の冷却能力に関する説明書	V	•		+		+++					•			0				0485			04	月下					\rightarrow		_				
		使用済燃料貯蔵槽の水深の遮蔽能力に関する説明書	*	•				+					•			0				O4月上 O4月上				月下					+		-				
		設計及び工事に係る品質管理の方法等に関する説明書	V													0				0491		1		月下			0		+		-				
		図面	▼	•	_	-		+												〇4月上									+		+				
		要目表	_		v .											○調整由		١.			0											「基本設計方針」は、設置許可補			
						4			ľ							O IMPLE													\rightarrow		正	E(確定)後、条文毎に3/20以降 実施。4月下旬に基本設計方針比			
	本文	基本設計方針	*		H_{I}			+									0		1 - 1	04月上			04	月下		0			\rightarrow		有	校, 工認基本設計方針は5月上 旬。			
		設備リスト	Y	•	· ·	4		+	•						-	○調整中			. 0		0								+		7	「適用基準及び適用規格」につい には、各説明書確定後実施 「設置許可との整合性に関する			
		適用基準及び適用規格 発電用原子炉の設置の許可との整合性に関する説明書				+		+																			0	0	+		診	説記していては、基本設計方 計確定後実施			
原子炉冷却系統 施設					H																								+			.月:3原子炉冷却材再循環系, 4.1			
		設定根拠に関する説明書	Y	•		4			•						-	○調整中			0		0										4.	主蒸気系(SRV出口配管含む). 1.6主蒸気隔離弁漏えい抑制系 2月:4.2復水給水系,4.3復水脱塩			
	添付書類	流体振動又は温度変動による損傷の防止に関する説明書		•	▼ •																								\rightarrow		亲	系, 4.4給水加熱器ドレン系, 4.5抽 気系, 6.5ほう酸水注入系, 7.2補			
		非常用炉心冷却設備のボンブの有効吸込水頭に関する説明書 設計及び工事に係る品質管理の方法等に関する説明書	_		7 •	-		+++					•							04月上				月下			0		\rightarrow		9.	合水系, 8.1原子炉補機冷却系, 1.1原子炉冷却材浄化系, 蒸気 ダービン			
			Y			+		+															04	-A L			0	0	+		3.	1月:5.1残留熱除去系, 6.1高圧炉 Dスプレイ系, 低圧炉心スプレイ			
		図面	•	•	*	•			•						•	〇調整中		•	0		0										4	系、8.2残留熱除去系海水系、 ・月:5.2格納容器圧力逃がし装 置、耐圧強化ベント系、6.3原子炉			
																															6.	鬲離時冷却系,6.4低圧注水系, i.6高圧代替注水系,6.7低圧代替			
		クラス1機器及び炉心支持構造物の応力腐食割れ対策に関する説明書	•		*	,			•						•																H	主水系, 6.8代替循環冷却系, 6.8 弋替水源供給設備, 7.1原子炉隔 推時冷却系, 8.3緊急用海水系			
施設共通	添付書類	発電用原子炉施設の蒸気タービン、ポンプ等の損壊に伴う飛散物に				+		+																					\rightarrow			第2回補正後に順次実施			
		よる損傷防護に関する説明書 安全弁及び逃がし弁の吹出量計算書			V			+++												〇調整中									\rightarrow			37-21112-04-140-140-140-140-140-140-140-140-140-			
		安主弁及び恐かし弁の収出重訂昇書	- 4		v •	-		+	•			•		•			O												+		+++				
		基本設計方針	V		H	-		+						_	再調整	₩ ↔				04月上			04	月下		0			+		11	「基本設計方針」は、設置許可補 E(確定)後、条文毎に3/22以降 実施(3/22:35条、3/27:38条)。4			
	本文	設備リスト	v (+	•					•															+		月工	月下旬までに基本設計方針比較. Σ認基本設計方針は5月上旬。			-
		適用基準及び適用規格			V			+												0							0		##		7	「適用基準及び適用規格」につい では、各説明書確定後実施 「設置許可との整合性に関する			-
		発電用原子炉の設置の許可との整合性に関する説明書			•																							0			133	・版画計号との至日 圧に関する 説明書」については、基本設計方 計確定後実施			
計測制御系統		設定根拠に関する説明書		•	•				•					•						0											1	2月:2.制御材,3制御棒駆動装置 制御棒駆動機構,容器,主配			
施設		計測装置の構成に関する説明書並びに計測範囲及び警報動作範囲 に関する説明書			•	•								•						〇4月上											管	前四年継続前後待, 台部, 王司 音), 4.ほう酸水注入設備, 5.計測 表置((1)起動領域計装及び出力			
	添付書類	工学的安全施設等の起動(作動)信号の設定値の根拠に関する説 明書	,		•	•														〇4月上									\perp		計	計測装置,7.工学的安全施設の起 助信号・・,8.2非常用窒素供給系			
		発電用原子炉の運転を管理するための制御装置に係る制御方法に 関する説明書				•														〇4月上									\perp		2.	容器), 発電用原子炉の運転を 管理するための制御装置 !月:3.制御棒駆動装置(主要弁),			
		中央制御室の機能に関する説明書	▼			4		•											1 1	○調整中				月下					\rightarrow		4.	月:5.計測装置, 8.1窒素供給系, 1.2非常用窒素供給系((1)以外)8.3			
		設計及び工事に係る品質管理の方法等に関する説明書 図面	V			4		++	•	\vdash				•									04	月下			0		+			非常用逃がし安全弁駆動系			
		要目表	V		v •	+		++	-	\vdash				•															+		++				
		基本設計方針	V					++		\vdash							〇調整	<u> </u>		04月上			Ω4	月下		0			+		I	「基本設計方針」は、設置許可補 E(確定)後、条文毎に3/20以降			
	本文	設備リスト	▼					++		\vdash				•						U-72±									+		I	実施(基本設計方針比較含む)。 エ認基本設計方針は5月上旬。 「適用基準及び適用規格」につい			
		適用基準及び適用規格			V			+																			0		+		7.1	Cは、各説明書確定後実施 「設置許可との整合性に関する			
放射性廃棄物の		発電用原子炉の設置の許可との整合性に関する説明書			V			+																				0	##		133	説明書」については、基本設計方 計確定後実施			-
廃棄施設		設定根拠に関する説明書	V		v •	•		11						•																	2	:月:1.液体, 液体又は固体廃棄物 庁蔵設備, 2.気体, 液体又は固体			
	添付書類	主排気筒の基礎に関する説明書	V								• *	以降、「耐力	喪設計上重要	な設備を設	置する施設	その耐震性	の計算書」にて	(実施		○4月上			0 4	月下							廃	庁蔵設備,2.気体,液体又は固体 廃棄物処理設備,2.4その他(排気 高,非常用ガス処理系排気筒)			
		設計及び工事に係る品質管理の方法等に関する説明書	V	Т																			04	月下		0					3.	1月:2.2.1機器ドレン処理系(10)主 記管, 2.2.2(10)床ドレン処理系(10)			
						$A \rightarrow$		++		\vdash									+										+			主配管 MCCI/FCI対策設備含む】			
1		図面	▼		▼ •	•				1 1				•									1 1	1 1											

<u> </u>										3月							4月			5月	月 6月	7月 8月	9月	10月 11月	***	分類	5A F
グループ 発電用 No. 原子炉施設区分	資料	図書	11月 12月	月 1月 2月												4 5 6 9 10 11					下上	下 上 下 上 下	上下」	<u></u>	備考 (ヒアリング予定) 条	件 評価 評	論点 価 (設置許可からの論点+α) 果
		要目表	V			木 金	月火	水 木 金	月火	水木	金月火木	金月	火	k 木 金 〇	月火	水木鱼月火水	木 金 月	火水木金	月火	水 木 金					[# 1 20 21 to A] ./ 1		
		基本設計方針	▼											〇調整中		04月上		0	4月下	0					・「基本設計方針」は、設置許可補 正(確定)後、条文毎に3/20以降 実施(基本設計方針比較含む)。		
	本文	設備リスト	▼	•				•						0													
		適用基準及び適用規格		,	•																0				- ては、各説明書確定後実施 - 「設置許可との整合性に関する 説明書」については、基本設計方		
		発電用原子炉の設置の許可との整合性に関する説明書		,	•																	0			針確定後実施 1月:1.放射線管理用計測装置		
		設定根拠に関する説明書	▼	•	•			•						0											2月:2.2中央制御室待避室 3月:2.1中央制御室換気系, 緊急		
		放射線管理用計測装置の構成に関する説明書並びに計測範囲及び 警報動作範囲に関する説明書	ş 🔻		•				•												0				- 時対策所換気系、3.生体遮蔽装置 - 5月下:耐圧強化ベント系放射線モ		
		管理区域の出入管理設備及び環境試料分析装置に関する説明書	▼	•	完了																				5月 ト: 耐圧強化ヘント系放射線モニタの設計変更(台数、計測範囲の変更)に伴う、詳細設計後実		
6 放射線管理施設					70.7																				施。		
	法从事额																								・スライド扉について気密性を維持 できる構造、確実な開閉であるこ		
	添付書類	中央制御室の居住性に関する説明書		١,	•	•									〇調整中	Þ		0	4月下		0	0			との説明(3月から) ・ブローアウトパネル全体の成立 性(6月から)	0	BOP及び関連設備の必要機能と確認方法 ①外側BOPの差圧による開放機能
																									性(6月から)		②閉止装置の閉止機能及び耐震健全性 ③要素技術(クリップ、スライド扉等)を含めた、ブローアウトパネル全体としての成
																											めた、ブローアウトパネル全体としての成 立性確認
		設計及び工事に係る品質管理の方法等に関する説明書	_															0	4月下			0					
		生体遮蔽装置の放射線の遮蔽及び熱除去についての計算書		٠,	v •	•									〇調整中	Þ											
		図面	▼	• •	•			•						0													
		要目表	_		-																				・「基本設計方針」については、設		
		X-1-X	ľ		` •																				置許可補正(確定)後,3/20以降 実施。4月下旬に基本設計方針比		
		基本設計方針	•					$\perp \perp \perp$						〇調整中		〇4月上			4月下	0					較,5月上旬に工認基本設計方針 実施。 ・「適用基準及び適用規格」につい		
		設備リスト	▼		•		•				•					0	0								ては、各説明書確定後実施 - 「設置許可との整合性に関する		
		適用基準及び適用規格			-																0	0			説明書」については、基本設計方 針確定後実施		
		発電用原子炉の設置の許可との整合性に関する説明書			<u> </u>																				2月末:1.原子炉格納容器 3月:2.原子炉建屋,3.圧力低減		
		設定根拠に関する説明書	•	'	•		•				•					0	0								設備(主配管, 7.1.2非常用ガス所 理系, (8)原子炉格納容器調気設		E 7 LE IN 64 PO DO DO DO DO DO DE TOTA A 14
																									備及び(9)圧力逃がし装置以外), 3.圧力低減設備(主配管, 7.1.2非 常用ガス所理系, (8)原子炉格納		・原子炉格納容器の200°C、2Pdの健全性 の考え方(ガスケットの厚み/ひずみ)、同 説明書、MCCI/FCI対策、同説明書、滅圧
																									容器調気設備及び(9)圧力逃がし 装置)		沸騰による影響評価(2月から順次, 4月試 験結果等反映)
																									・2/1 改良EPDM製シール材に		
- T-1-10444440		原子炉格納施設の設計条件に関する説明書		 	•	•		•		•	•					〇4月上				0	0 0	0			対する追加試験の状況について	0	①200°C、2Pdでの健全性の担保の考え方 ②ガスケットの増厚に関する検討結果 ③圧縮永久ひずみ率のデータ拡充 ④MCCI/FCI対応策設備の設計
7 原子炉格納施設																									C		③ 注稿永久ひずみ半のナータ拡充② MCCI/FCI対応策設備の設計⑤ 動的荷重+減圧沸騰による影響評価
																									C	8 0	
	添付書類																										・格納容器ベント設備の設計
		原子炉格納施設の水素濃度低減性能に関する説明書	▼		•	•							0			〇4月上		0	4月下	0	0						・FCVSの流量制限オリフィスの設定方法、弁操作作業被ばく、屋外被ばくについ
																											τ
		原子炉格納施設の基礎に関する説明書			_											04月上	0				0				・4月:現状評価の整理		
		原子が旧称形成の基礎に関する説明書 圧力低減設備のポンプの有効吸込水頭に関する説明書			Y •											04HE				→	Φ 0	*			- 6月: 耐震追加評価の反映		
		設計及び工事に係る品質管理の方法等に関する説明書	V															0	4月下			0					
		図面	*	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	•		•									0	0										
		要目表	•	•	•											0									「基本設計方針」は、設置許可補		
		基本設計方針	_													〇4月上			4月下	0					正(確定)後に実施(3/22:16,45 -条)。4月にその他条文及び基本 設計方針比較実施,5月上旬にエ		
	本文	設備リスト	·	•	•											0									- 認基本設計方針実施。 ・「適用基準及び適用規格」につい ては、各説明書確定後実施		
		適用基準及び適用規格			v			+++				+									0				・「設置許可との整合性に関する 説明書」については、基本設計方		
8 非常用電源設備		発電用原子炉の設置の許可との整合性に関する説明書			v																_ -	0			- 針確定後実施 - 1月:1.非常用電源設備, 2.5可搬		
		設定根拠に関する説明書	_	. ,	v .											0									型代替低圧電源車, 2.6可搬型窒 素供給装置用電源車		
		非常用発電装置の出力の決定に関する説明書			v •		+	+		•		++	0			04月上			4月下		+				2月:2.1(6)冷却設備, 2.2(6)冷却設備 備 3月:2.1(2)内燃機関(5)発電機,		
		非常用発電装置の出力の決定に関する説明書 設計及び工事に係る品質管理の方法等に関する説明書	V				++	+++				++	確認	+++		O4#I			4月下 4月下		0				2.2(2)内燃機関(5)発電機, 2.4(2) 内燃機関(5)発電機		
		図面	Ţ	. ,	v •																-				4月:2.1(4)燃料設備, 2.2(4)燃料 設備, 2.3常設代替高圧電源装 置, 3.その他の電源装置		
								+				+															
		要目表	* •		•			+++				+				O4B b			+++						・「基本設計方針」は、設置許可補 正(確定)後、条文毎に実施		
	本文	基本設計方針 設備リスト	v		•		+	+			+	++				04月上					+				(3/22:45条, 4/12:工認基本設計 - 方針) - 「適用基準及び適用規格」につい		
		適用基準及び適用規格			v	\dashv	++	+													0				ては、各説明書確定後実施 ・「設置許可との整合性に関する		
		発電用原子炉の設置の許可との整合性に関する説明書		,	v																	0			説明書」については、基本設計方 針確定後実施		
9 常用電源設備		設定根拠に関する説明書	▼ •		•																				図面:常用電源設備に係る配置を 明示した図面(常用電源設備(敷		
	添付書類	常用電源設備の健全性に関する説明書	•	•	•					•			O 確認												地図追加) ——		
	ne l'i 표제	三相短絡容量計算書	•	•	•					•			確認														
		設計及び工事に係る品質管理の方法等に関する説明書	•			\perp		$\bot \bot \bot \bot$						\bot				0	4月下	0							
		図面	v •		•			+																			
	本文	基本設計方針	*					+				+		○調整中	1 1	O4月上				0					・「基本設計方針」は、設置許可補 正(確定)後、4月上旬に実施(基		
40 400		適用基準及び適用規格			* *			+++													0				本設計方針比較含む)。工認基本 設計方針は5月上旬。		
10 補助ボイラー		発電用原子炉の設置の許可との整合性に関する説明書			*			+				+									+	0			・「適用基準及び適用規格」につい ては、各説明書確定後実施		
	添付書類	設計及び工事に係る品質管理の方法等に関する説明書	▼															0	4月下	0					・「設置許可との整合性に関する 説明書」については、基本設計方 針確定後実施		
						1 1	1 1	1 1 1	1	1 1	1 1 1 1	1 1		1 1 1	1 1		1 1 1			1 1	1 1		1 1 1	1 1 1		1 1	1

										38				1			4.8				58	68 78 88	08	108	118		公和	
グループ 発 No. 原子炉	電用 施設区分	資料	図書	11月 12月	1月 2月 2月				13 14	15 16 19 20 2	2 23	26 27	28 29 30	2 3	4 5 6 9	10 11	12 13	16 17 18 19	20 23	24 25 26 27	7 上下	± 7 ± 7 ± 7	- ±	т <u>н</u> т	上 下	備考 (ヒアリング予定)	条件 方法	論点 評価 (設置許可からの論点+α) 結果
						木 金 月	火水		火水	木金月火オ	金	月火	水木金	月火	水木金月	火水	木金	月火水木	金 月	火 水 木 金	ż							
			要目表	▼ •				•								_									-F2	基本設計方針」は、設置許可補 (確定)後、条文毎に実施		
		本文	基本設計方針	▼								0			○調整□	Þ			O4月下		0				(3/	/27:11,52条),4月基本設計方 比較, 工認基本設計方針は5月		
			設備リスト	▼ •				•																	- E1	商用基準及び適用規格」につい		
	-		適用基準及び適用規格		V		++				+					++	+		++			0	+		- [よ、各説明書確定後実施 設置許可との整合性に関する 明書」については、基本設計方	-	
11 火災	方護設備		発電用原子炉の設置の許可との整合性に関する説明書		*																	0			金十石	確定後実施 月:1.火災区域・区画, 2.消火設		
			発電用原子炉施設の火災防護に関する説明書		▼ ●					•			0												備(((2)容器 月:2 道火設備((1)ポンプ)。 ヒア		
		添付書類	設定根拠に関する説明書	▼ •	T			•																	(707)	ングコメント回答(2/14以降順)		
			設計及び工事に係る品質管理の方法等に関する説明書	▼															O4月下			0			(5)	発電用原子炉施設の火災防護 関する説明書」については、2/		
			_																						提出	に添付書類+補足説明資料を 出予定。2/14(15:00ー)順 説明実施。		
			図面	•				•																	× 1	元 少夫心。		
																									. [2	基本設計方針」は、設置許可補		
			要目表	v •															O4月下						IE ((確定)後,条文毎に3月下旬以 実施(3/23:12条)。4月に6,51条		
																									及び	び基本設計方針比較,5月上旬 工認基本設計方針実施。		
		本文	基本設計方針	V	_										OOTH.	部溢水			O4月下		0					上総基本版計刀針关地。 適用基準及び適用規格」につい - よ 各説明書確定後実施		
				v	V						•				調整中						0				- [8	ま、行成明音幅足を失能 設置許可との整合性に関する _ 明書」については、基本設計方		
			設備リスト	•											aOM	部溢水			O4月下						第十 百	確定後実施		
	-		適用基準及び適用規格		V																	0	+		12	月:1.外郭防護(a.防潮堤~s.緊 _ 用海水ポンプ室床ドレン排出口		
			発電用原子炉の設置の許可との整合性に関する説明書		V	+				+	++						+			+++	+	0	++	+	逆」	止弁. y.原子炉建屋原子炉棟水 扉~ad.原子炉建屋付属棟北側	- $+$ $+$	プラント停止時の原子炉建屋オペフロ
12 浸水[方護設備		発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書														0								水区区	密扉), 2.内郭防護設備((1)防水 画構造物o.原子炉建屋残留熱		ロッシング対策 ①オペフロ大物搬入口部のコンクリー
			発電用原士炉施設の盗水防護に関する説明書				•		•							調整中	中 浴水								水和	去系A系ポンプ室水密扉~s.海 ポンプ室ケーブル点検口浸水		上に設置する止水板(DC搬出入時に 的に取り外す必要あり)の工認上の扱 ②上記止水板の浸水防止機能の確認
			**** T. *** T.				+			+ + + + +	+								0457				+		防」 2月	止蓋1,2,3)]:1.外郭防護(t.格納容器圧力		②上記止水板の浸水防止機能の確認
		添付書類	設計及び工事に係る品質管理の方法等に関する説明書	▼							++						+		O4月下		+	0 0	++		/\"	がし装置格納槽点検用水密 ッチ〜x.常設代替高圧電源装置 – カルバート原子炉建屋側水密		
		かり言葉																							扉)	カルハート原子炉建屋側水密) 2.内郭浸水防護設備((1)防水 画構造物a.原子炉建屋原子炉		
																									棟2	水密屏~n.原子炉建屋(区画分		
			図面	▼ •	▼														O4月下							ー・ 『目表:ヒアリング日程調整中		
																									(社	(内)		
			要目表	V											調整中 6〇火災										-			
			基本設計方針	·									○調整中		04月上				04月下		0				正(基本設計方針」は、設置許可補 (確定)後、各条文を3/20以降 施。4月下旬に基本設計方針比		
		本文	設備リスト	·									OMIZI		調整中 6〇火災				0471						較.	5月上旬に工認基本設計方針		
					_																				- Fj	適用基準及び適用規格」につい ま、各説明書確定後実施		
13 補機驅	動用燃料		適用基準及び適用規格		The second second																	0			- Fa	設置許可との整合性に関する 明書」については、基本設計方		
			発電用原子炉の設置の許可との整合性に関する説明書	_	<u> </u>										emaket oo u.w.							0			金十石	確定後実施		
		添付書類	設定根拠に関する説明書	V	V										調整中 6〇火災				0.00						2月	1:1.燃料設備		
			設計及び工事に係る品質管理の方法等に関する説明書												98 BY				04月下		0				·要	目表:ヒアリング日程調整中 上内)		
			図面	▼	V										調整中 6〇火災										(12	LP1/		
			要目表	▼																					- F	基本設計方針」は、設置許可補 (確定)後、各条文を3/20以降		
		本文	基本設計方針	▼									〇調整中		〇4月上				04月下		0				実施	施。4月下旬に基本設計方針比 5月上旬に工認基本設計方針		
			設備リスト	▼																					実施	施。 適用基準及び適用規格(につい		
	取水設備		適用基準及び適用規格		T																	0			- [8	ま. 各説明書確定後実施 設置許可との整合性に関する		
14			発電用原子炉の設置の許可との整合性に関する説明書		V																	0				明書」については,基本設計方 確定後実施		
		添付書類	設定根拠に関する説明書		T																							
			設計及び工事に係る品質管理の方法等に関する説明書	▼															04月下		0					_		
			図面	▼		\perp														$\perp \perp \perp$			\perp		\perp	<u> </u>		
施	9共通	添付書類	取水口及び放水口に関する説明書		v	\perp		•	•	•		確認				\perp			\perp	$\perp \perp \perp$	\perp		$\perp \perp$					
			機能	▼	•																		\perp		-13	基本設計方針」は、設置許可補		
		本文	基本設計方針	▼								再	側整 ↔		〇4月上				O4月下		0		\perp		69	(確定)後,各条文を3月下旬か 実施。4月下旬に基本設計方針		
			適用基準及び適用規格		▼																	0	$\perp \perp$		#15 #15	較,5月上旬に工認基本設計方 実施。 適用基準及び適用規格」につい		
15 緊急	寺対策所		発電用原子炉の設置の許可との整合性に関する説明書		▼		$\perp \perp$															0			₹I:	よ、各説明書確定後実施 設置許可との整合性に関する		
			緊急時対策所の機能に関する説明書	▼	•			•	•	● 完了															R党E	明書」については、基本設計方 確定後実施		
		添付書類	緊急時対策所の居住性に関する説明書		T • (•								〇調整	+								\perp					
			設計及び工事に係る品質管理の方法等に関する説明書	▼															O4月下		0							
			図面	▼	•																							
			通信連絡設備に関する説明書	▼	• •																							
0 施	9共通	添付書類	安全避難通路に関する説明書	▼	•				13※メール[回答		調整中				〇調整中												
			非常用照明に関する説明書	▼	•				13※メール	回答		調整中				〇調整中							\Box					
_			技術基準要求機器リスト		▼ •																0							
① 施i	设共通	添付書類	設定根拠(に関する説明書(別添)	▼							$\parallel \top$									\Box	0		\top		4月 及(日下:各施設の「基本設計方針」 び「技術基準要求機器リスト」の 認後実施		・BOPの設定値根拠について
			発電用原子炉施設の自然現象等による損傷の防止に関する説明書	_	• •		+ + -				+		0		〇4月上	1 1							++		確認	80 俊実施	\dashv	
							+ + -				+		-		7:				1 1	1 1 1			++			/20.4/5 胜湖根 :: 本東华	0	・ 胜湖福川 ― し 本南 仏 小海 し ホ ホ ホ っっ
																									-3/ の#	/29, 4/E 防潮堤ルート変更後 緊析結果反映	0 0	 防潮堤ルート変更後の遡上津波の記浸水深(3月) 銅製防潮壁の止水機構の地震時にる追従性に係る実証試験結果(5月)
			津波への配慮に関する説明書	▼	• • •	•	•		•	•	—	0 0	0						O4月下		0						0 0	○ ・調製防潮壁の正水機構の地震時に る追従性に係る実証試験結果(5月) ○ ・鋼製防潮壁の直接定着式アンカ
																											0	放水路ゲートの閉止機構の設計(多 又は多様性、耐震)(5月)
② 施 (自	投共通 然事象)	添付書類																										・漂流物衝突力について
																											0	・余長付固縛の設計方針(衝撃荷重に 許容限界以下であること)
			竜巻への配慮に関する説明書	▼	• •			$ \cdot \bullet $									0										0	・複数枚の扉による貫通評価手法(簡 価式を用いた吸収エネルギーでの判 法)
			July 677-81-99-1-78V			+				+	++									+++	+	+	++	+			- $+$ $+$	本)
			火山への配慮に関する説明書		• •		++										0		++			+	++				+	
			外部火災への配慮に関する説明書	▼	• •			•			•		0		〇4月上													

Section Sect	グループ 発電用 ※※***											月										4月					5月 6	月 7月	8月	9月	10月	11月	- 備考 (ヒアリング予定)	分類	論点 (設置許可からの論点+α)
The content of the	グループ No. 発電用 原子炉施設区分 資料		図書		1月	2月 2月		5 6 月 火	7 8 水 木	9 12 金 月	3 14 k 7k	15 16	月 火	22 23 2	6 27 月 火	28 29 水 木	金 月	3 4 火 水	5 木 1	金 月 火	水 木	13 16	17 18 火 水	19 20	23 24 25 26 月 火 水 木	金 上	下上	下 上 下	± 1	F Ł	す 上 す	上下			
*** The state of t		1	安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における 建全性に関する説明書	5 🔻		•	•			•			•		0	0											0						試験結果		SA時環境条件設定 ·SA時の環境条件設定の基本的な考え
Maria Mari	③ 施設共通 添付書 (健全性)		可搬型重大事故等対処設備等の保管場所及びアクセスルート			•								•										〇4月									4月 N 刊: 保官場所 路田の評価・	- - -	・屋内アクセスルートのうち。原子炉建屋付属株に設置するIF-2F間アクセス用ハッチの設計。生入事故等時における開閉機能が確保できること)
Part		1	可搬型重大事故等対処設備の設計方針																																
Part					•	♥ 完		•		•			•					0																	
March Marc				•	•	•	•	•		• •				•	0	θ θ	0 0	0	0	0 0 0		0												0 0	・機器・配管系評価に用いる設計用床応 曲線の作成が針(2月) ・FRSの20Hz以上の取扱い ・「地盤の文貨性能に係る基本方針」設 重変更許可段階で示した解析用の液状(強度特性の代表性及び帰属性(3月下旬) ・「機能維持の基本方針」動的機能維持 野価における構造等のJEAG適用外の格 器の野権(3月) ・弁の動的機能維持評価の高周波数領却
Part		THE STATE OF THE S	耐震設計上重要な設備を設置する施設の耐震性についての計算書	. ▼	•	v	•			•	の知识)計 [結]を]倒		•	0	0	0 0	0	0	0 0		0		O4月	7								構造物,主導東面(地震)を書 憲性についての計算書、基礎の耐 憲性についての計算書、基礎の耐 憲性についての計算書、計算書 (房子時建度、原子時建度基礎 使用済燃料乾式貯蔵建屋、取水 構造物 引令:屋外二重管、緊急時対策 所建屋、非常用ガス和運系配管、 常設代替高に電源を置置場、 常設代替高に電源を置置場、 常設代替高に電源を加速を 動型発掘程度:かとつた基礎 常設 物型発掘程度:かとつた基礎 常設	0	・使用済燃料約式貯蔵建屋等の地震観測 記録を踏まえた耐震評価
A		1	原子炉本体の耐震性に関する説明書	•		•	•							•																					(2月) - スタンドパイプの耐震評価(2月~) (①スタンドパイプの極限解析の保守性を確認する試験結果 (②スタンドパイプの極限解析に用いる解
# APPER PARTICULAR TO FORT CORP.		4	该燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の耐震性についての計算書			•	•																	〇4月	7			0					2月:代替燃料プール注水系及び 代替燃料プール冷却系 6月:燃料プール冷却系		
Annual Research Age	 施設共通 (制度) 添付書 		原子炉冷却系統施設の耐震性についての計算書	•		•										〇調整・	#							О4Я	F		0	0					ンプ・熱交換器。高圧炉心スプレイ系イン、低圧炉心スプレイ系イン、電投画に任管之水系ペン ガース 常設画に任管之水系ペン カラース で表面に任管注水系ペン カラース で表面に任管注水系ペン カラース で表面である。 カリース である。 カリース である。		
Part		40	計測制御系統施設の耐震性についての計算書	•		•											0			〇4月上	·			O4月	न		0	0					ブ・タンク、盤、制御棒駆動機構, ほう酸水注入ポンプ(動的機能維 持)・配管。 6月:制御棒駆動水圧系、窒素供 終系、非常用窒素供給系、非常用 退がし安全弁駆動系、 計測装置は配管系と同時期(1月		
####################################		t	放射性廃棄物の廃棄施設の耐震性についての計算書	•		•					•					〇調整・	+											0					3月:非常用ガス処理系排気筒 6月:機器ドレン系・床ドレン系配管		
日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日		į	放射線管理施設の耐震性についての計算書	•		•	•							•																			央制御室換気系フィルタ, 中央制御室換気系ファン 3月・緊急時対策所換気系。第二		
デーベル発電器 非常用点		ſ	原子炉格納施設の耐震性についての計算書	•		•	•									○調整・	Ф							〇4月	न			0					機。 非常用ガス処理系フィルタトレイン、 可燃性ガス濃度制御系再結合 器、水素濃度制御系 前等。圧力低減設備で心管安全 設備。非常用力ス構質環光排風 機(銀)的機能維持。非常用力ス濃度 地理系計基礎、可能性力ス濃度 物質、原子中學歷ガス速度 等。 元年代之系 突塞者 工作等		原子炉格納容器底部コンクリートマットの
浸水防護施設の耐震性についての計算書 ▼ ●		177	非常用電源設備の耐震性についての計算書	•		•										○調整・	ф										0						デーーゼル発電装置 非常用 / 高 圧炉心 スプレイ系デーゼル発電 横空気だめ、非常用 高圧炉心ス プレイ系デーゼル発電機が出 デイタンク、非常用 高圧炉心スプ レイ系デーゼル発電機が設 非常用 高圧炉心スプレイ系 デーゼル発電機用海水水ンプ スレープ・ストーゼル発電機が 料移送水ンプ、軽油やンク、常設代 替高圧電温整置、 窓急時寸所 所代替原電設備、その他電温接 無・		
接種製用燃料設備の耐震性についての計算書 ▼ の調整中 の調整中 の調整中 の調整中 の調整中 の調整中 の調整中 の関連を の関		3				•										〇調整	ф		-	04月上				04月	-		0	0					2月~:防潮堤,放水路ゲート,浸水防止蓋,水密ハッチ,水密扉, 津波監視カメラ等		
非常用取水設備の耐震性についての計算書 ▼ 3月~SA海水ビット、海水引き込み管、貯留曜等																〇調整	+																		
緊急時対策所の耐震性についての計算書																〇細整	<u> </u>			0				+			++						の月~SA海水ビット、海水引き込み管、貯留堰等		

_										3月							4月		5)	<u> </u>	7月	8月 :	9月	10月 11月 ////////////////////////////////	分類	4.46
グルーフ No.	デザイン 発電用 原子炉施設区分	資料	図書	11月 12月	1月 2月	2月 1 2	2 5 金 月 :	6 7 8 9 12 1 火 水 木 金 月 リ	3 14 4 7k	15 16 19 20 22 木 金 月 火 木	23 26 金 月	27 28 29 火 水 木	30 2 3 金 月 火	4 5 水 木	6 9 10 1: 金 月 火 オ	1 12 1 k 木 1	3 16 17 18 19 20 2 月 火 水 木 金	23 24 月 火	25 26 27 上	下上	т <u></u>	下上	T	10月 11月 備考 上 下 上 下 (ヒアリング予定)	条件 評価	論点 計評価 (設置許可からの論点+α)
			波及的影響を及ぼすおそれのある施設の耐震性についての計算書		_	• •	E A .		. 4		0	- A	- " ~		0 0 0	71. 3		1月下						2月~耐震評価方針.原子炉建 クレーン,燃料取替機.海水ポン ブ室竜巻飛来防護対策設備等		
																								プ室竜巻飛来防護対策設備等		
			水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価結果		*		'	•		•		0			0											
			火災防護設備の耐震性についての計算書 溢水防護に係る施設の耐震性に関する説明書		*	•						0			調整中	0	0.	1月下		0	0					
4	施設共通 (耐震)	添付書類	可搬型重大事故等対処設備等の耐震性に関する説明書		• •							0					0:	1月下								・可搬型設備等の耐震性(加振試験の実
			可搬型重大事故等対処設備のうちポンベ設備の耐震性についての 計算書		V							0						·//·								施の有無)
			計算書 可搬型重大事故等対処設備のうちその他設備の耐震性についての 計算書		▼							0														
			可搬型重大事故等対処設備の水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価結果		•	•											0.	1月下								
			耐震性についての計算書作成の基本方針	•				•																		
																								5月上 基本方針、計算方法に けるSA2(RPV)の説明を3月中 に完了させ、その結果を計算書に		
			原子炉本体の強度に関する説明書	Ť															0	0				(元子) (元元) (元元) (元元) (元元) (元元) (元元) (元元)		
																								・貯蔵プール、スキマサージタン		
			核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の強度に関する説明書	•											〇4月上					0 0				が、		
																								・基本方針、計算方法がまとまり。 第説明実施。		
																								-4月上 代替循環冷却系		
																								-4月上 主蒸気系. 低圧代替注水系 -4月上 低圧代替注水系		
																								・4月下 高圧炉心スプレイ系、低 圧代替注水系、緊急用海水系 ・5月上 低圧炉心スプレイ系		
			原子炉冷却系統施設の強度に関する説明書	•											〇4月上		0-	4月下	0	0 0				・5月下 高圧代替注水系. 原子炉 冷却材再循環系		
																								・6月上 残留熱除去系, 耐圧強・ ベント系, 原子炉隔離時冷却系, 残留熱除去系海水系		
																								・基本方針、計算方法がまとまり 第説明実施。		
																								·4月上(まう酸水注入系、制御材 駆動水圧系 ·4月下 非常用窒素供給系、非?		
			計測制御系統施設の強度に関する説明書	•											〇4月上		04	1月下		0				*************************************		O ・技術基準17条と高圧ガス保安法及び消防法の規定の比較
																								・基本方針、計算方法がまとまり 第説明実施。	•	
																								·3月下 中央制御室換気系、中 制御室待機室 緊急時対策所機		
			放射線管理施設の強度に関する説明書	•											〇4月上		0-	1月下						制御室待機室, 緊急時対策所換 気系, 第二弁操作室 -4月下 中央制御室換気系(弁)	0	・SAクラス2管のうち長方形板の大たわみ 式を用いた矩形ダクトの評価について
(5)	施設共通 (強度)	添付書類																						4月上 代替循環冷却系配管, 4月上 原子炉建屋放水設備 4月下 格納容器下部注水注水系		
																								配管,格納容器圧力逃がし装置 5月下 原子炉格納容器,原子炉 終練容器貫通部 ベンル管 移納		
			原子炉格納施設の強度に関する説明書	•											〇4月上		0-	1月下	0	0 0	0			格納容器貫通部, ベント管, 格納容器スプレイヘッダ 6月上 代替格納容器スプレイ配管		
																								6月下 非常用ガス処理系、不活性ガス処理系、窒素ガス代替注。		
																								・PCVのJSMEでの評価結果が 月となる。		
																								・3月下 高圧炉心スプレイディー ・1月、発電技器(配答) 党田仕禁		
																								高圧電源装置,空素供給装置用電源車,ハロン・二酸化炭素ボン		
			非常用電源設備の強度に関する説明書	•											〇4月上		0-	4月下						・4月下 非常用ディーゼル発電。 置、高圧炉心スプレイディーゼル 発電装置、ろ過水貯蔵タンク他		O ・技術基準17条と高圧ガス保安法及び消防法の規定の比較
																								光电表直、つ地小灯敞メンク他		
			補機駆動用燃料設備の強度に関する説明書	V											調整中	0								・基本方針、計算方法がまとまり 第説明実施。		
																								新説明天施。 5月下旬:裏面剥離. 海水ポンプコ リア防護ネット. D/C建屋防護ネッ		
			竜巻への配慮が必要な施設の強度に関する説明書		-	• •				•		0		0		0	0-	1月下		0 0				ト. D/C建屋車両防護柵, 西側開 口閉鎖部の計算結果		
																								6月上旬:BOP部防護ネット、ALC交 応鋼板部の計算結果 4月下旬:T/B荷重増分解析結果		降下火砕物に対する建屋の健全性
			火山への配慮が必要な施設の強度に関する説明書		*	• •		•		•		0				0	0-	1月下		0				6月上旬:原子炉建屋付属棟(廃 棄物処理棟含む)の解析結果	0	降下火砕物に対する建屋の健全性 ・屋根スラブの剛性を考慮する等した主要 部位の現実的な評価
			津波又は溢水への配慮が必要な施設の強度に関する説明書			•									0					0	0			3月下 基準津波(DB. SA) 5月下 24m津波(SA)		
			発電用火力設備の技術基準による強度に関する説明書		_											+	0.	1月下						・基本方針、計算方法がまとまり		
			非常用発電装置(可搬型)の強度に関する説明書		▼											++		1月下						第説明実施。		
																								・基本方針(共通)ご説明後実施 ・5月下 応力計算書(解析評価級 了後に実施)		
			炉心支持構造物の強度に関する説明書	•															0	0				・RPVと同時期での説明実施		
																								・3月中を目途に特に論点と考え、 SAクラス2であってクラス1機器の 基本方針について集中して実施。	0	示の整理、各クラスの評価方針、JSMEに
																								以降4月中残りの基本方針及び(計算方法についてご説明予定。		規定のない材料についての方針 含む) ・強度評価に用いる計算値の丸め方、有 効数字の考え方
																									0	・クラス2機器の規定を準用しない評価の 考え方 ・SAクラス2機器であってクラス1機器の
(5)	施設共通 (強度)	添付書類	強度計算書作成の基本方針	•	•	• •		•		•		0		0		0			0						0	SAクラス2管の疲労評価についてSAクラス2ポンプの強度評価について
																									8	・SAクラス3機器の強度的健全性の考え 方について ・17条・55条に関連する評価の提示方法に
																									0	ついて ・強度の基本方針(ASMEとJSMEの違い)